

ヤマハ(株)、エジプトに日本の器楽教育を導入！

－世界中の子どもたちに音楽の楽しさを－

国際協力機構（JICA）とヤマハ株式会社（静岡県浜松市、中田卓也代表執行役社長）は、「JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業」において、「初等教育への日本型器楽教育導入案件化調査【アフリカ課題提示型】」（エジプト国）の業務委託契約を締結、2021年6月から約1年半にわたり、エジプトでの器楽教育導入（リコーダー）に向けた活動を実施します。

現在、エジプトは、これまでの知識偏重の学校教育から脱却し、豊かな人間性をはぐくむ教育への転換を目指しています。その一環として、特別活動(特活)をはじめとする「日本式教育」の特徴を取り入れた公立学校「エジプト・日本学校(EJS)」を設置、日本人の校長経験者をスーパーバイザーとするなど、非認知能力(社会性、協調性等)を養う日本の教育に非常に高い関心を寄せています。

総合楽器メーカーであるヤマハ(株)は、楽器演奏の楽しさを伝える「スクールプロジェクト」を世界で展開しており、その経験を活かしながら、器楽教育を通じた子どもたちの非認知能力の強化を目指し、エジプト国の教育事情に寄り添った音楽の普及活動を実施しています。



教員向け研修風景 写真提供@reference: Egypt-Japan School(EJS)

【今後の予定】*継続取材をお待ちしています。動画、写真提供可能です。

2021年6月から 教員向け研修の実施 ←現在ココ！

2021年9月から EJS 新学年開始 音楽授業の実施

2022年5月 EJS 生徒によるクラスコンサート(発表会)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 企業連携課 松本（案件担当）

TEL 052-533-1387 e-mail : Matsumoto.Yu2@jica.go.jp